

議 事 録

件 名	令和4年度 第2回 久留米市男女平等推進センター運営委員会	
日 時	令和4年12月23日（金） 19:00～20:30	
場 所	えーるピア久留米 210・211研修室	
出席者	委員	堀田富子、宮里武行、佐藤あい子、矢ヶ部秀範、江藤美智子、守屋普久子、酒井道宏、角栄子、樋口孝司、伊崎より子
	事務局	酒井・大場・田中（男女平等推進センター）
	ワザ-バ-	水落（男女平等政策課）
欠 席 委 員	末崎由美子、緒方麻美、松本圭史、笠智宣	
傍 聴 者	0名	
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ■令和4年度 事業実施概要（11月末現在） ■令和4年度 施設利用状況（10月末現在） ■第11期 久留米市男女平等推進センター運営委員会 委員名簿 ■ジャーナルvol. 72 ■講座チラシ 	

議 事 内 容

1. 開会
2. 議題
 - (1) 令和4年度事業報告について
 - 施設の利用状況（10月末現在）
 - 事業実施状況（11月末現在）
 - (2) くるめフォーラム2022実施状況について
 - (3) 男女共同参画サポーター養成講座について
3. その他

議 事 内 容

【質疑応答】

2. (1) 令和4年度事業報告について
 - 施設の利用状況（10月末現在）
 - 事業実施状況（11月末現在）

- (委員) 前回の配布資料「令和4年度 男女平等推進センター事業一覧 (R4.7月末現在)」の実施事業と本日の配布資料「(事業実施概要の3ページ) 令和4年度 男女平等推進センターの機能と事業体系」の実施事業が一部合っていないのはなぜか。
- (事務局) 前回配布した資料は、事業体系自体はこれまで培ってきたものであり、それを変えたということではなく、説明用として、7月時点で予定していた今年度の特徴となる事業を事業実施概要と比較しやすい形まとめたものである。同じような形でまとめたことが誤解を招いた結果になってしまった。今後は、見たときに分かりやすい内容で作成するように努めたい。
- (委員) 施設の利用状況の10ページ、ケース会議が前年度と比較すると大きく減っている要因は。また、ケース会議の具体的な事例は。
- (事務局) 以前は市役所の他部局との検討等も計上していたが、同じようにケース会議の件数を管理している家庭子ども相談課と計上の考えを合わせたので、前年度と比較して件数が減った。具体的には、要対協など正式な依頼に基づく会議がその例である。
- (委員) 事例が減ったようにも見えるので、検討が何件で、そのうちケース会議が何件と表記した方が過去と比較できるため、検討してはいかがか。
- (事務局) 検討する。
- (委員) それにしても件数が少なすぎるので、4件の事例を教えてください。
- (事務局) 全てを把握している訳ではないが、児童虐待の案件で要保護児童対策協議会や高齢者の案件で地域包括支援センターや長寿支援課など関係機関で対応方法を協議している。
- (委員) 定義が大幅に変わるのであれば、事前に説明をしてほしい。(要望・回答不要)
- (委員) 事業実施概要の12ページ、②DV・性暴力被害者支援に関わる関係機関・団体等への研修は、そもそも②として追加する必要があったのか。昨年度は病院や支援団体などが対象、今年度は校区が対象となっているが、研修の対象が変わったのか。また、金丸校区は男性学級と前回まで記載あったが今回は男性学級の文言が消えている。金島校区はどのような対象だったのか。民生委員児童委員連絡協議会が消えているのはなぜか。
- (事務局) 本事業は国の100%補助を活用する事業として別建てしている。研修の対象は、被害者支援に関わる団体など、主に医療機関を想定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり医療機関の実績が伸びていない状況だった。その中で校区に声掛けをしたところ、希望した校区で開催に至った。また、民生委員児童委員連絡協議会は当初予定したが、先方の事情により中止になったため削除した。
- (委員) 金丸校区の対象は男性か。また、金島校区の対象は。
- (事務局) 内容を調べて後で説明する。
- (委員) 事業実施概要を確認すると、DV関連の講座が多く、基礎講座が少ないのではないか。
- (事務局) 基礎講座の充実は課題認識があり予算要求したが、予算が確保できなかった。次年度の予算編成の中で、基礎講座の充実を意識していきたい。
- (委員) 労働講座は自身も参加し内容が充実していたと感じるが、参加者はかなり少ない。予算が少ない中で開催する講座について、もっとPRすべきではないか。
- (事務局) 広報くために講座が掲載されないようになったことに加え、センターの認知不足や集客が見込める講座を企画できていないことが要因と考える。登録者が多いLINEを活用した発信と共に、魅力的な講座を企画していきたい。
- (委員) えーるピア1階階段下のスペースの有効活用や男女の貸室を1番利用している一般団体にも声掛けを行うなどLINEやホームページで広報して申込を待つだけでなく、出来

ることがあるのではないか。

- (事務局) ご意見のとおり、センターを利用する方への働きかけは継続して行っていきたい。また、LINEは若年層や子育て世帯に有効と考えるので、ターゲットを意識して広報をしていきたい。
- (委員) 子育て世帯にとって、LINEによる広報は有効的だと思う。また、講座の参加者の感想や事業報告などがあれば、参加を検討する材料となるので検討してもらいたい。(要望・回答不要)
- (委員) 以前は登録団体宛にチラシ発送だけでなく、センター職員からの声掛けで講座に参加していた。センター職員による参加の声掛けなどをしてほしい。(要望・回答不要)
- (委員) 事業体系をみると、総花的、メリハリがないように感じる。また、市など公的機関が行う事業は、5年10年先を見据えるべきかと思うが見えにくい。例えば、事業評価をまとめてホームページに掲載するなど必要ではないか。また、広報戦略はマーケティングとも言え、参加者数が少ないのが、チラシの内容、広報のやり方、講座の内容、どこに課題があるのか分析するなど経験の積み重ねが見えない。事業体系にしても未来永劫変わらないというのは考えにくい。今後の事業を考える際に、過去の変遷や現在、今後の社会の動きを見据えた協議ができればと考えるので、そのような視点も検討してほしい。(要望・回答不要)
- (事務局) 先ほど質問あった、事業実施概要の12ページ、②DV・性暴力被害者支援に関わる関係機関・団体等への研修の金島校区は高齢者学級であり、男性1名女性14名の参加があった。内容は、地域の見守り役として、また自身の子や孫にDVがあるのではという視点で接してほしいという考えで研修を実施している。
- (委員) 主に事業の実績に基づいた説明であるが、予算など時期を意識するのであれば、この会議の年間スケジュールを示したうえ、今回の会議がどういった場なのか共通認識のもとで協議した方がより建設的な会議になるのではないか。(要望・回答不要)
- (委員) 全国に先駆けて公布した男女平等を進める条例では、男女平等推進センターは男女平等推進拠点となっている。他へ出向くことも重要であるが、男女平等推進センターを活用して発信すべきである。また、限られた予算の中で工夫し、時勢を捉えた講座を実施してほしい。(要望・回答不要)

2. (2) くるめフォーラム2022実施状況について

- (委員) 高校生など若い世代の参加があったことは資料を見れば分かるが、フォーラムに参加した方が次のアクションにつながった等、くるめフォーラムの効果として何か感じることはあるか。
- (事務局) ジャーナルに記載している参加者の声にあるような効果があったと考える。また、市民企画に参加した団体が別の事業、次のステージに進むなど広がりを見せているのも効果と考える。
- (委員) 次のステップに進んだ団体がどういった状況にあるかこの会議で共有があるとより意義があると感じるので、会議の共有方法を検討してほしい。(要望・回答不要)
- (委員) 記念講演という著名人による啓発も必要であるが、市民企画は団体自らが企画、運営している。こういった裾野の広がりがあることも重要と考える。
- (委員) 講師役の高専の女子学生が自身で発表資料を作成し、小学生から大人まで幅広い年齢層の参加者に対して、丁寧に対応していた。女子学生自身も教えることを通して得たものがあつたと話していた。
- (委員) 以前はジャーナルに市民企画の講座タイトルを載せていたと記憶している。市民企画は団体名を記載するだけでなく、講座タイトルや概要を載せるなど参加できなかった方にも伝わるような内容を検討してほしい。(要望・回答不要)

2. (3) 男女共同参画サポーター養成講座について

- (委員) 知り合いで講座の日程があわず、例えば5回講座で3回以上参加でも良いという内容であれば参加したかったと声があった。また、サポーターの方がくるめフォーラムに参加することが少なくなっているのので、次期サポーターになった方に対して、くるめフォーラムの実行委員会等への参加案内をしてほしい。(要望・回答不要)
- (委員) 地域に出向く講座なので地域から参加してもらった方が地域の参加者も増えるし裾野が広がると考える。市内各校区に参加の声掛けをした方が良いのではないかと。(要望・回答不要)

3. その他

- (事務局) 動画作成支援の2団体目の「レッドリボンときずな」の一部を紹介。本動画を作成した団体は、その機運が高まっており、今後動画を使ったワークショップなどを検討されている。また、次回の運営委員会は来年3月を予定している。
- (委員) もう1つの動画も見せてもらえないのか。
- (事務局) 字幕を入れた方が良いと考えているがまだできてない状況である。今後検討したい。
- (委員) 動画作成支援の「レッドリボンときずな」は、保健所と連携してすすめた方が良いのではないかと。
- (事務局) 保健所とは、今後予定する性と生理の啓発イベントなどで連携していきたいと考えている。

【質疑終了】